

アスパラガスの新たな更新方法の検討 ～浦河町アスパラガス栽培支援～

(課題番号 8)

- ◆活動年次：令和4年度
- ◆対象：浦河町野菜振興会（11戸）

1 課題の背景

10～15年目を超えるアスパラガスほ場が多くなり、更新を考える農業者が増えている。新たな更新方法の一つとして柵板式高栽培システムの導入を検討する。

2 活動の経過

時期	方法	回数	主な内容
4月～3月	個別巡回	延べ40回	栽培技術助言、ほ場更新の意向確認
6月・12月	栽培講習会	2回	更新方法の情報提供、意見交換



個別巡回による栽培技術の助言



生育状況の確認と更新の意向確認



講習会による情報提供

③新たな栽培方法の利点

柵板式高畝栽培システムの改植方法

- ① 高柵の片側に新しい苗を定植
- ② 古い株は連続で収穫し、消失させる。
- ③ ハウスがなく、連続的に使用できる。
- ④ 連作障害が生じにくい

※ 古い根を掘り上げない!

改植しやすい!!

柵板式高畝栽培システムの情報提供

3 活動の成果

- ・ 将来的なアスパラガス更新方法として部会内で検討された。
- ・ 1戸で柵板式高畝栽培システム実施の意向が見られた。

連作障害が少ないと言われていたり、更新時に休耕期間が無いのは良いね！

将来的に部会で取り入れる価値がある更新方法かも。



客土・畝間の調整・ハウス軒高など既存ハウスでの実施条件を満たせず、実施を見送ることとなった。



4 今後の対応

今後は情報収集を行いつつ、農業者の要望に応じて対応を行う。